



体験活動



▲サワガニみ〜つけた！

- ① サワガニさんとあそぼう
- ② 野鳥と水鳥をみつけよう
- ③ 国^{くづかやま}東山の草花にふれよう
- ④ 玉城の歴史にふれてみよう
- ⑤ 「アスピア秋まつり」をたのしむ



▲林の中をのんびりウォーキング



▲池のほとりで野鳥を観察

午後からの体験学習では、玉城町の「語り部会」のみなさんの案内で、5つのコースに分かれてそれぞれ体験活動を行いました。今回、県内交流会に参加して下さったエコクラブ、サポーター、ボランティアのみなさん、あたたかくおもてなしして下さいました玉城町のみなさん、ありがとうございました。

ちょっと環境学習

URL:<http://www.eco.pref.mie.jp>

木について考える

9月から11月まで月1回、「キノボリストになろう！」～木登り体験講座～ と題した自然体験プログラムを行いました。普段から木登りしている子もいれば、このプログラムで初めて木登りをしたという子もいます。参加してくれたみなさんは、自分の力で高い木に登ってどんな感じがしたでしょうか？木って「生きているんだな」と少しでも感じてもらえたら、とてもうれしいです。

さて、日本是世界の中でも木の多い国です！国土の約7割が森林で、私たちのご先祖様は暮らしに必要な道具を木を利用して作り出してきました。江戸時代を想像してみてください。

家は木造、履物は下駄やわらじ、着物は綿、麻などです。身近なものを上手に工夫して道具を作り出してきたご先祖様の知恵には頭がさがりますね。こうした植物性の原料は最終的に使えなくなってもまた土に戻ります。燃やした後の灰は肥料としても利用されます。ちょっと不便ではありますが、「もったいない」という気持ちからごく自然にリサイクルができていたんです。

さて現代の生活を見てみましょう。木に代わってプラスチックや化学繊維など、石油から作られるものがたいへん多くなりました。プラスチックは軽くて加工しやすいなど、たいへん便利ですが、燃やすと有害なガスが出たり、ごみの処理がたいへんです。便利なプラスチックの使い捨てもいいけれど、一本の木からつくられた道具を大切に使う…そんな気持ちを思い出してみましょう。木は伐られたあとも、道具として使われることで生き続けることができるのです！



「キノボリストになろう」イベントの様子